

紹介します！

皆さんの写真や大切なもの、活躍している身近な人なども紹介できますので、お気軽にお寄せください。

申込み 秘書広報課 TEL557-7497

耕心館では、毎年2月中旬から下旬にかけて、福寿草が咲きます。福寿草という和名は、旧暦の元日頃に花を咲かせるため、新春を祝う花とされたことが由来です。一足早い春を見つけに、耕心館に足を運ばれてはいかがでしょうか。



今年はさる年

申年生まれの人は、明るくて人付き合いが上手なのだそうです。周りの人たちまで楽しくさせる事ができるなんて、なんとうらやましいことでしょう。

耕心館の猿たちも皆さまを幸福にしたいと張りきっています。今年の『みずほ 雛の春まつり 第11回瑞穂のつるし飾り』は、2月21日(日)から3月7日(月)まで開催されます。かわいい猿たちに会いにお出掛けください。

耕心館ボランティア 奥泉 智子

問合せ 耕心館 TEL568-1505



たべものにかんしゃ！！

給食センターでは、食育の推進を目的とした「学校給食に関するポスターコンクール」を羽村市・瑞穂町の小中学校に在学する児童・生徒を対象に実施しました（共催：東京都学校給食会）。

今年度は、528点の応募の中から4点の最優秀賞が選ばれ、瑞穂町からは一小2年生の高水啓佑さんの作品が選ばれました。作品は、給食配送車に掲示して、瑞穂町・羽村市内で給食を運んで走りますので、ぜひご覧ください。小・中学生の皆さんが、「たべものにかんしゃ」して、給食を残さず食べて、元気に育って欲しいと思います。

問合せ 羽村・瑞穂地区学校給食センター TEL554-2084

戦ひにあまたの人の失せしとふ 島緑にて海に横たふ

天皇皇后両陛下は、国交正常化60周年をむかえるフィリピン共和国を1月末にご訪問、式典翌日の29日には同国ルソン島ラグーナ州カリラヤに日本政府が初めて海外に建立した「比島戦没者の碑」に供花されます。帰途に世界中の研究者が集まるロスバニョス市にある“国際稲研究所（IRRI）”をご視察されます。

この国を日本領台湾や本土の防衛のために進攻占領していた日本軍と、米国統治下であったフィリピン奪還を目指す米軍の死闘の地となりました。この為日本兵約52万人もが陣没し、米国と同盟を結んだフィリピン国民にそれに倍する以上の犠牲者が出ました。「2匹の巨象が激闘を行い、多くの蟻(国民)が踏み殺された」とは、この国の人の表現でした。

慰霊式の参列者名簿の中にお名前があるのは、

戦後ロスバニョス市の南の谷で従容として銃殺された本間雅晴中将のご遺族かも知れません。そうしたら全く感動的な一時となります。

両陛下は瑞穂町に行幸啓されました時にも、先の大戦について特別な想いがあることを示されました。当日がカリラヤのジャパニーズ・ガーデンと呼ばれる丘の上の碑に、気持の良い南の風・凱風が吹き渡り、戦没者の霊の安らかならんことを祈ります。巻頭は、本年の歌会始の陛下の御製です。



▲比島戦没者の碑

町長 石塚 幸右衛門



人口と世帯

1月1日現在
()は前月比

人口	33,905人	(15人減)
男	17,251人	(2人減)
女	16,654人	(13人減)
世帯	14,610世帯	(増減なし)

発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地
TEL042(557)0501(代表) FAX042(556)3401(代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

